

一般社団法人 半導体産業人協会
理事長 吉澤六朗
講演企画委員長 有門経敏

2025 年度 6 月度フォーラム開催案内

平素、半導体産業人協会の活動に格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

2025 年 6 月度フォーラムの開催をご案内いたします。

近年、宇宙もビジネスの対象になり、民間ロケットの打ち上げも行われております。宇宙で使用される半導体には地上とは異なった品質や信頼性が求められます。高品質、高信頼性は日本の得意とする領域ですので、この度は宇宙用半導体を取り上げました。

JAXA の新藤浩之様に『宇宙用半導体デバイスの今と未来 ～ スケーラブルソリューションの時代へ』と題するご講演をいただきます。

お忙しいとは存じますが、皆様には奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 開催日時

2025 年 6 月 12 日（木） 15：00～17：00

2. 開催方式

Web 開催（オンライン）

3. プログラム

- ・講演題目 『宇宙用半導体デバイスの今と未来 ～ スケーラブルソリューションの時代へ』
- ・講師 新藤 浩之氏
(国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 研究開発部門)

・講演要旨

近年の宇宙開発は、国が主導するプロジェクトだけでなく、小型衛星群を活用した民間企業主体の宇宙産業としての広がりを見せ始めている。人工衛星やロケットに搭載される半導体デバイスは、打ち上げから軌道投入までの一連の過程で遭遇する過酷な環境下でも動作することが求められる。これまでの宇宙開発では、軌道上での修理や交換が出来ない想定のもと、MIL 規格をベースとした宇宙用高信頼性半導体デバイスが重要な役目を担ってきた。この重要性は現在も変わらないものの、宇宙産業のなかでは、衛星投入軌道やミ



セッション期間、信頼度要求の多様化が進み、各ユースケースに適した品質グレードの半導体デバイス製品群の実現（スケーラブルソリューション）も進んでいる。本講演では、宇宙用高信頼性半導体デバイスとは何か？について解説した後、先端半導体技術で特に問題となる宇宙放射線影響とその対策、最近の技術動向と今後の方向性について述べる。

・講師略歴

1996年 慶應義塾大学 理工学研究科 生体医工学専攻 修士課程了

1996年～ 宇宙開発事業団（NASDA）入社 技術研究部に所属

2003年～ 宇宙3機関が統合され、宇宙航空研究開発機構（JAXA）に。

研究開発部門にて宇宙用半導体デバイスの研究開発に従事。

現在、研究領域上席として、宇宙用部品の研究開発をとりまとめ。

4. 参加費

会員・準会員・賛助会員：聴講：無料

一般： 聴講：3,000円

5. 申し込み方法

・申し込み先：info@ssis.or.jp

・本メールに返信の形で、氏名、ご所属、会員、または一般、および参加方法（林野会館参加、またはオンライン）をご記載の上、事務局(info@ssis.or.jp)に申し込み下さい。

・申し込みいただければ、受け付けた旨、およびオンライン接続情報（Zoom 会議 URL）を返信いたします。

・一般の方には、申し込みをいただいた後、受付メールに半導体産業人協会の口座をご案内しますので、聴講料 3,000 円をお振込みください。振込確認後、オンライン接続情報をお送りいたします。

・一般の方も当協会に入会いただければ、入会后 1 年間会費無料で会員登録できます。その場合には、本フォーラムを無料で聴講することができます。

・ご質問がある場合は、事務局(info@ssis.or.jp)までお問い合わせください。

・申し込み締め切り：6月6日（金）17：00

一般社団法人 半導体産業人協会

<http://www.ssis.or.jp>

TEL：03-6457-3245

FAX：03-6457-3246
